

学術集会 ご報告

第20回 日本生殖内分泌学会学術集会を終えて



会長

藤澤 正人

神戸大学大学院
腎泌尿器科学分野
教授

平成28年1月9日（土）に神戸国際会議場で開催させていただきました第20回日本生殖内分泌学会学術集会におきましては、おかげさまで137名のご参加をいただき、盛会裏に無事終了することができました。

本学術集会は産婦人科、泌尿器科、内科、小児科をはじめとする生殖内分泌にかかわる臨床家と基礎研究者が一堂に会して情報交換する大変学際的な集会であり、1996年に早稲田大学の石居進会長の下に第1回が開催され、今回の神戸での開催は第20回という節目の年になりました。

今回の学術集会では、生殖内分泌に関する基礎的な研究から臨床的な課題まで広く討議し、生殖内分泌学の発展に貢献できるよう企画いたしました。特別講演では、浜松医科大学の緒方 勤教授に中枢性性腺機能低下症について、臨床的進歩と分子遺伝学的観点からご講演いただきました。教育講演では九州大学の林 克彦教授にiPS細胞を用いた生殖細胞の産生に関して、最新の知見と今後の課題についてご講演いただきました。またシンポジウムでは、性腺機能低下症について、基礎領域から臨床領域までをカバーできるように各領域の先生方からご講演をいただきました。一般演題におきましても、多様性に富んだ素晴らしい研究内容を43題ご登録いただき、最新の知見を凝縮した構成で、非常に質の高い討議ができたものと確信しております。

生殖医学領域の研究は多岐にわたり、大変魅力的で将来性のある分野であります。この度の学術集会ではその魅力を伝える役割も果たせたのではないかと自負しております。

本学術講演会開催にあたり、会員の皆様方の格別のご指導ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

末筆ながら、日本生殖内分泌学会の今後の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

第20回日本生殖内分泌学会学術集会 会長
藤澤 正人

神戸大学大学院医学研究科腎泌尿器科学分野